



2022年4月28日

## 加茂繊維株式会社に対する 「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、加茂繊維株式会社(本社:岡山県津山市、代表取締役 角野 充俊)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2022年4月28日
融資金額	2億円
融資期間	5年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	廃棄率(裁断屑量/裁断総量)の削減
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(詳細:別紙2)を取得しております。

#### 2. 企業概要

会社名	加茂繊維株式会社
所在地	岡山県津山市野介代 1650-1
代表者	角野 充俊
業種	繊維製造業
事業内容等	新・機能素材の開発と繊維製品企画製造販売

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
 2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。  
 持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先  
 株式会社 広島銀行 法人企画部  
 TEL (082)247-5151 (代表)

## 「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

## ○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の2商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施</li> <li>・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年1回のレポートイングが必要</li> </ul>
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象</li> <li>・ 年1回のレポートイングが必要</li> </ul>

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取り組みの対外公表をご支援します。

## ○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと</li> <li>・ 外部レビュー※、年1回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施</li> </ul> <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと</li> <li>・ 年1回のレポートイングを実施</li> </ul>
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	



# セカンドオピニオン

加茂繊維株式会社

〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2022年4月28日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は広島銀行(以下、「貸付人」という)と、加茂繊維株式会社(以下、「借入人」という)の間のサステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本ローン」という)について、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

## 1. KPIの選定

本ローンにおいて選定されたKPIは以下の(1)から(4)の観点より適切なものが設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

### (1)借入人の包括的な社会的責任戦略

借入人は、岡山県津山市に本社を置く、1973年8月創業の繊維素材の開発及び企画製造販売会社である。加茂繊維の前身である「角野商店」では、山林を活かした炭焼き事業を行っており、その際に発生する廃材を販売することで、「捨てるものに価値をつける」という斬新なビジネスを展開した。

アパレル縫製工場として創業後、大手素材メーカーと共同で新素材開発に取り組み、今では研究開発型の素材メーカーに成長した。現在、複数の特許を保有、さらに新素材の特許を出願し積極的に事業展開を行っている。

借入人は、ポリエステルや綿などの繊維素材に加えて、2003年に開発した自社事業の中核素材であるBSファイン(※1)に封入されるブラックシリカ(※2)等が有限な資源であることを再認識し、これらの価値ある資源を最大限利用することで、持続可能な社会の実現と当社事業の持続・成長を目指している。

また、さらなる発展を目指した同社の活動は、対外的にも評価されており、2017年には経済産業大臣から「地域未来牽引企業」として認定を受けている。経営理念である「より健康で豊かな人生の創造」の実現に向けて、国内のみならず広く海外を視野に、「社会の課題を、繊維のチカラで解決する」という新たなミッションに取り組んでいる。

借入人は、天然資源を活用した新・機能素材「BSファイン」を活用し、ミッションである「社会の課題を繊維のチカラで解決」の実現を目指している。借入人にかかわるすべての人が、より健康で豊かな人生を歩んでいくことができる商品・サービスを日々創造し続けることで、持続可能な地域社会の実現に貢献していくとして、2021年11月22日に次のとおり「SDGs宣言」を掲げている。

- ① 繊維のチカラで明日を変える
- ② 未来を実現するための人づくり
- ③ ものづくりへの想い
- ④ 地域社会への貢献



## 加茂繊維株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年11月22日  
加茂繊維株式会社  
代表取締役 角野 充俊

### 当社のSDGsへの貢献

#### 繊維のチカラで明日を変える

お客さまの臨みに寄り添い、培ってきた高い技術・開発力と品質のもと、社会が抱える様々な課題解決に挑戦し、「より心地よい暮らしを世界に！」をビジョンとして社会の課題を解決してまいります。

【主な取組み】  
・新・機能繊維素材「BSファイン」を活用した素材・商品開発（医療・介護、健康分野での活用や、作業効率の向上や高熱性能を活用した建築資材への応用によるノンカーボン素材の提供による環境負荷低減への貢献）



#### ものづくりへの想い

「金の品質・銀の価格」を基本に、環境整備と絶え間ないイノベーションへの取組みを通じて、商品・サービスを磨き続けてまいります。

【主な取組み】  
・環境整備や品質・効率向上に向けた日々の改善提案継続による品質の維持・向上（不良品率0.5%）  
・お客様の声を起点とした商品・サービス向上



#### 未来を実現するための人づくり

社員一人ひとりが豊かな人生を実現することを願い、社員自身の成長と、会社の成長を実感できる企業づくりを実践してまいります。

【主な取組み】  
・自らの成長機会を数値で可視化し、未来設計が出来る成長支援制度の導入  
・職務・階層に応じた定期研修や多種多様な教育の充実  
・短時間勤務制度導入による両立支援への取組み



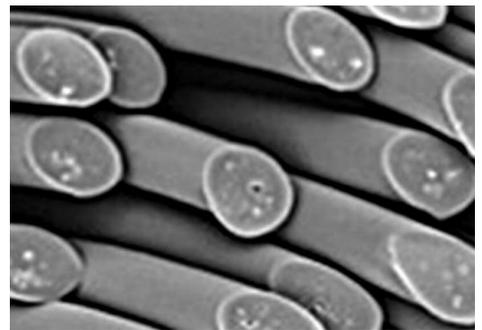
#### 地域社会への貢献

良き企業、良き市民として、創業来地域に根差した事業活動を継続することで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【主な取組み】  
・地域未来牽引|企業への認定  
・地域の小・中・高等学校での講演活動の継続  
・地元人材の積極採用・地域プロスポーツへの協賛



SDGsとは  
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。



(※1)BSファイン  
借入人が4年がかりで開発したポリエステル繊維に天然鉱石ブラックシリカを封入した新・機能素材。



(※2)ブラックシリカ  
北海道の上ノ国鉱山でのみ産出される希少な天然鉱石。蓄熱性・放熱性に優れ、常温で遠赤外線を放出する特性をもつ。酸化還元等の機能も確認され、様々な分野での活用が期待される。

加茂繊維株式会社 SDGs宣言

会社HPより抜粋

## (2) KPIの概要

借入人はKPIとして、「廃棄率(裁断屑量／裁断総量)」を選定した。具体的な廃棄率削減策の用途として掲げているのは、リサイクル繊維製品開発(裁断屑を中綿として再利用したまくらや靴下・手袋などの縫製品開発を想定)と、マテリアルリサイクルによる用途開発(細かく裁断した裁断屑を不織布へ加工し、蓄熱シートやナプキンなど様々な用途で利用可能な素材開発を想定)である。

## (3) サステナビリティ目標とKPIの関係

「加茂繊維株式会社 SDGs宣言」のうち、「繊維のチカラで明日を変える」について、主に、新・機能繊維素材「BSファイン」を活用した素材・商品開発(医療・介護・健康分野での活用、作業効率の向上や蓄熱性能を活用した建築素材への応用によるノンカーボン素材の提供による環境負荷低減への貢献)に取り組んでいる。これは本ローンのKPIである、リサイクル繊維製品開発及びマテリアルリサイクルによる用途開発による「廃棄率(裁断屑量／裁断総量)の低減」と一致しており、整合性があるといえる。

## (4) KPIの有意義性

サステナビリティについては、2015年のSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の採択以降、国内外において、官民での取組が活発になっている。

環境省によると、国際的なファッション産業は、製造にかかるエネルギー使用量やライフサイクルの短さなどから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されている。その中で、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境負荷を考慮したサステナブルファッション(※3)への取組は、近年急速に広がっている。

一方で、日本の繊維産業において、一部の企業においてサステナビリティの取組は徐々に始まっているものの、長く複雑と言われるサプライチェーンの管理等、課題が山積している。

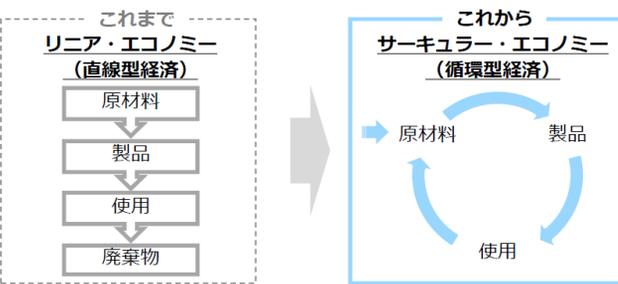
こうした状況を踏まえ、経済産業省は2021年2月に、繊維産業におけるサステナビリティへの取組を促進するため、「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」を設置し、計6回にわたり検討会を行った。2021年7月の報告書では主に①環境配慮、②責任あるサプライチェーン、③ジェンダー平等、④供給構造、⑤デジタル化の促進の論点でサステナビリティにかかる現状と今後の取組についてまとめられている。

### (※3) サステナブルファッション

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて、将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のこと。

特に環境配慮については、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニア・エコノミーから、「適量生産・適量購入・循環利用」のサーキュラー・エコノミーへの移行が必要とされ、副産物削減、省エネルギー・省資源、製品の長寿命化等の環境配慮設計が課題となっている(※4)。

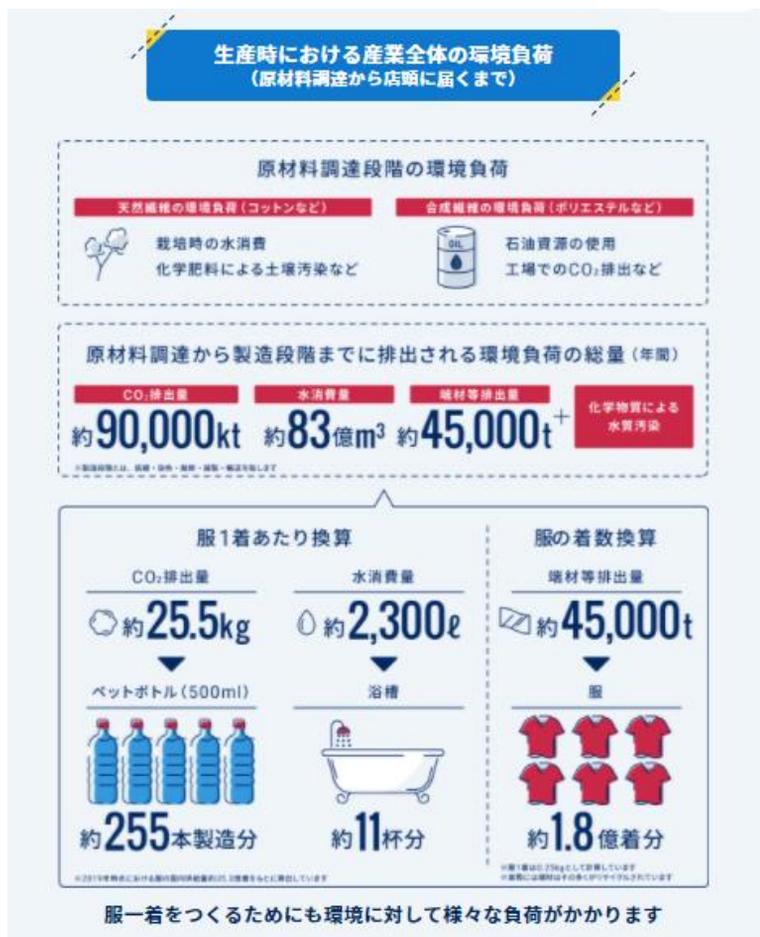
また環境省は、日本で消費される衣服と環境負荷に関する調査を実施し、その結果を基に2021年4月に「SUSTAINABLE FASHION これからのファッションを持続可能に」という、サステナブルファッションに関するレポートを公表した。このレポートには、ファッション産業の環境負荷(※5)とその対策がまとめられており、企業が取り組むことの中に、原材料調達段階でのリサイクル繊維製品開発、及び製造・回収段階でのマテリアルリサイクルが位置付けられている(※6)。



※4 経済産業省報告書より抜粋



※6 環境省レポートより抜粋



※5 環境省レポートより抜粋

## 2. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)の測定

本ローンのSPT設定については、以下の(1)から(3)の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

### (1)SPTの測定

借入人と貸付人はSPTの客観性、計画の妥当性、レポーティング等を踏まえて貸出条件及びSPTを設定した。

### (2)SPTの内容

KPIに選定した「廃棄率(裁断屑量/裁断総量)」について、借入人は2022年度から2027年度にかけて、リサイクル繊維製品開発及びマテリアルリサイクルによる用途開発によって、下表のとおり低減することをSPTとして設定した(なお、内訳は想定割合でありSPTには含まれない)。

#### 【借入人のSPT】

		2021年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027
廃棄率		13.6%	12.5%	11.5%	10.5%	8.0%	6.0%	5.0%
内訳	リサイクル繊維製品の開発による削減	—	100%	95%	80%	50%	40%	30%
	その他のマテリアルリサイクルによる削減	—	0%	5%	20%	50%	60%	70%

- ・SPTの単位期間は4月～翌年3月とする
- ・2021年度は実績数値

環境省によると、裁断屑は産業廃棄物の中でも再生利用割合が低いため、裁断屑量を減らすことが大きな課題となっている(令和2年度産業廃棄物排出・処理状況調査報告書 環境省環境再生・資源循環局)。

借入人が掲げる目標は、現在の実績と比較して、5年後に概ね廃棄率を半分にすることを目標としていることから十分に野心的であるといえる。

### (3)SPTの適切性

またSPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

### 3. ローンの特性

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に対し取組の進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1)が遵守されている場合、(2)が未達でもスプレッドは変わらない。(1)が遵守され(2)が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

### 4. レポーティング

評価対象の「レポーティング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

#### (1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

#### (2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

### 5. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人は、サステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. KPIの選定」、「2. SPTの測定」、「3. ローンの特性」、「4. レポーティング」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人もひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

## ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 取締役社長 前田 昭

所在地 〒730-0031  
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

## 留意事項

### 1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については貸付人が、借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的、間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

### 2. 広島銀行との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、広島銀行及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査・分析・コンサルティング業務は、広島銀行とは独立して行われるものであり、広島銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

### 3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に、利益相反が生じるような資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

### 4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。